



## 2014 年度「国際薬膳師(士)」「国際薬膳調理師」 資格認定試験が開催されました

2014 年 4 月 19 日(土)~20 日(日)の 2 日間にかけて、東京神田の会場にて「2014 年度国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師 資格認定試験」が行われました。

今年は例年以上に受験希望者が多く、総勢 92 名もの受験生が参加致しました。中国薬膳研究会へ受験生の申し込み資料を送り、厳正の審査を行った上で受験許可書が送られました。試験官は中国薬膳研究会常務理事・試験審査委員会の審査員、並びに日本国際薬膳師会会長の辰巳洋先生と副会長の鷺見美智子先生、本草薬膳学院研究科講師・日本国際薬膳師会学術部部長大村和子先生が務めました。

2 日間の試験、受験生の皆さん、お疲れ様でした！



(2 頁目に「国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師資格認定試験  
合格者一覧」記載)

### 答辞

2014 年度国際薬膳師・国際薬膳調理師合格者代表 早乙女 晴子

本日は、中国北京の世界文化遺産である頤和園(しんわえん)内のこ聴鸞館(ちようりかん)におきまして、中国薬膳研究会、日本国際薬膳師会代表の方々と列席のもと、国際薬膳師・国際薬膳調理師資格授与式を開催いただきまして誠にありがとうございました。2014 年度国際薬膳師・国際薬膳調理師資格をいただきました 92 名の方を代表しましてお礼を述べさせていただきます。

ちょうど 1 年前、本草薬膳学院のクラスに、期待と不安をかかえながら最初の授業に参加した日思い出します。年齢も仕事も様々でしたが、薬膳を学びたいという同じ思いからすぐに打ち解け、最初はわからないことばかりでしたが、励まし、刺激し合いながらひとつひとつ 1 年間学ぶことができました。劉先生をはじめ諸先生がたには、丁寧に根気強くご指導賜り感謝の気持ちでいっぱいです。そして、3 月の試験対策講座には、200 名を超える方が参加されており試験に向けて真剣に学ぶ姿には大変刺激を受け、試験までの 1 ヶ月の集中力を高め、試験に臨むことができました。多くの思いを同じくする仲間と一緒に国際薬膳師・国際薬膳調理師の資格をいただきました私たちは、今日ここに薬膳学を本当の意味で学ぶためのスタート地点にたてさせていただいたと思っております。

現代の日本では、食べることに困ることはほとんどありません。昨年「和食」が世界遺産になりましたが、ファッションのように食べ物を好き嫌いで選ぶことが増えています。飽食の時代の代償として贅沢病と言われる生活習慣病で健康を壊している人が多くいます。

天心相応、陰陽五行学説で学んだように私たちが自然の中で生かされていることに今一度立ち返り、これから諸先輩がたが研究してくださったことを学び研鑽をつみ、中医薬膳学の普及に微力ながら貢献し、現代社会の健やかな生活につながることを目指すよう各分野でがんばっていききたいと思っております。今後とも引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。



※6月16日に北京にて行われます「国際薬膳師合格証書授与式並びに日中薬膳学術シンポジウム」での答辞です。